

睡眠から運転者をサポート

人物
アラウンド

9月3日は「秋の睡眠の日」。「睡眠がおろそかになると自身の健康の影響に直結する」と呼びかける。



「医療法人メディカルサイエンスラボ」の理事長職のほか、東京・港区で「あおやま睡眠・内分泌クリニック」の院長として日々治療にあたる。

全国の医師の0・2%しかいない睡眠の専門医でもある。「正しい睡眠を損ねると運輸業務においては運転中の居眠りや生活習慣病に起因する事故

につながる事態も発生させてしまつ」と注意を促す。あることを知り、研さん

メディカルサイエンスラボでは専門医の立場から交通事故の撲滅、経営者や労働者がストレスから睡眠障害となること、うつ病などを発症しないよう、リスクを抑えるためのマネジメントや啓蒙、講演を行う。会社

の人数に応じて月額定額料金で定期的に経営者や従業員に問診と検査を行い、睡眠不足による体調の変化をチェック。随時適切な受診ができるよう

に整備している。産業界としての業務にも対応する。ももとは内分泌・代謝の専門医。糖尿病や脂質の不規則、生活習慣、54歳。